佐賀県
SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT

「PLA PLA サイエンスカフェ 2026」(第２回)を開催しました

2026 年 10 月 30 日、唐津市役所市民ホールにおいて、「PLA PLA サイエンスカフェ 2026」(第 2 回)を開催しました。

第 2 回目のテーマは「海やまちで見つかるプラスチックごみの現状」。

清野聡子先生（九州大学大学院工学研究院）と、中山裕文先生（九州大学大学院工学研究院）を講師に、参加者の皆さんと海洋プラスチックごみ問題について対話しながら学ぶ「対話型の学びの場」として実施しました。

当日は 14 名が参加し、高校生 3 名、大学生 2 名を含む幅広い世代の方々にご参加いただきました。また、オンラインでも 1 名が参加しました。

清野聡子先生からは、唐津の地形的な特徴や、広い流域を持つ松浦川と海とのつながりについて紹介がありました。唐津の海は栄養が豊富で生産性が高く、その豊かな海の環境は流域の人々の暮らしや活動と深く関わっていることが説明されました。また、市民がごみの分布状況を調査し、ArcGIS などの地理情報システムを活用して可視化する取組が紹介され、海ごみ問題を地域全体の課題として捉える重要性について学びました。

中山裕文先生からは、プラスチックごみの資源循環について、経済的な視点から紹介がありました。ペットボトルはリサイクルしやすく資源として活用しやすい一方で、その他のプラスチックは再資源化にコストを要すること、さらに海洋ごみとなった場合には回収や処理により大きな社会的コストが発生することについて説明がありました。

参加者は、プラスチックごみ問題を環境問題としてだけでなく、資源循環や地域社会の課題としても考え、ごみを海に流出させないことの重要性について理解を深めました。ま

た、講師との対話や参加者同士の意見交換を通じて、身近な行動と海洋環境とのつながりについて考える機会となりました。

　海洋プラスチックごみ問題を身近な課題として捉え、自ら考え行動するきっかけづくりにつながる有意義な機会となりました。



　なお、第３回は１１月１３日に「知っているようで知らないプラスチックの話」をテーマに開催予定です。引き続き、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

　詳しくは佐賀県ホームページをご覧ください。

　https://www.pref.saga.lg.jp/list00017.html

　申込は以下の Logo フォームからお願いいたします。

　https://logoform.jp/form/jbBd/1789213